

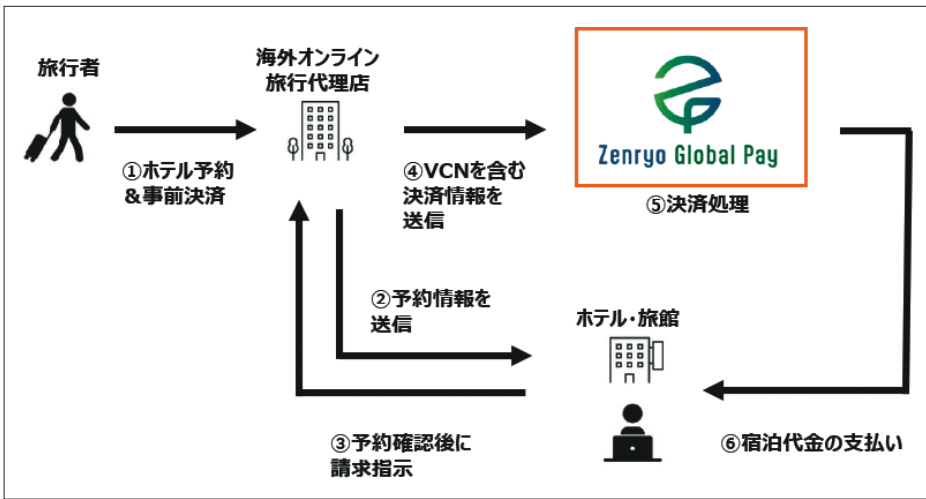
旅行・観光業界企業の業務支援を手掛ける全旅（東京都中央区）は、昨年(2025年)12月に新サービス「全旅グローバルペイ」の提供を始めた。インバウンド市場の拡大等を背景に、宿泊施設と海外OTA・旅行会社との間での取引が増加する一方、宿泊施設は煩雑な精算業務と人的負担の増大、未払い・

支払い遅延のリスク、新規取引先の審査の複雑化等への対応が課題となっている。「全旅グローバルペイ」は、全旅が長年にわたり培ってきた、全国の旅行会社と受入施設との精算を一元化する「全旅クーポン」の仕組みと運用実績を活かし、インバウンド需要のさらなる取り組みに貢献することを目指す。



インバウンド精算の課題を解決する「全旅グローバルペイ」

業務効率化と販路拡大を同時に実現する新たな決済ソリューション



海外OTA・旅行会社との決済処理を橋渡しし、全旅グローバルペイは、海外OTA・旅行会社を通じて受け付けた宿泊予約に対して宿泊施設が代金を請求すると、海外OTA・旅行会社と全旅との間で決済処理を行う。全旅から宿泊施設に代金が支払われる仕組み。国内旅行会社と受入施設（宿泊施設等）との間の精算業務を効率化する「全旅クーポン」の仕組みを海外OTA・旅行会社との取引に活用したもので、業務の煩雑化や精算・入金に不安を感じている宿

泊施設が、安心して取引およびインバウンドの受け入れが行えるよう、仕組みを整備したものだ。宿泊施設とOTA・旅行会社との取引には、請求書発行・照合・送金確認等、多くの手作業が発生する。海外を拠点にするOTA・旅行会社の場合、これらの業務負担に加えて、海外送金に伴う手数料コスト、入金遅延・未収といったリスクも無視できない。海外OTA・旅行会社との取引に不安を感じる、あるいは煩雑な精算業務に困っていることが、販路拡大の障壁になって

間接コストの最適化にも

全旅グローバルペイは、これまで取引実績がなかった海外OTA・旅行会社との取引を後押しする点でもメリットがあります。業務上の負担やリスクを理由に海外販路の新規開拓・販路拡大を躊躇っていた宿泊施設の皆さんにとって、安心してインバウンド需要を取り込むための「入口」になり得ます。



執行役員 中森万登氏

宿泊業界は慢性的な人手不足が続いており、特にバックオフィス業務の効率化・自動化が急ピッチで進められています。世界的なキャッシュレス決済サービスのレポートによれば、請求処理や照合作業、債権回収、各種手数料、請求書発行等のコストが、売上高の最大4.7%を占めると試算しています。

日本の企業間取引は、請求書の発行と、「月末締め翌月末払い」等の後日処理を行う「掛け払い」が主流ですが、この方法はコスト増加の要因になり得ると指摘もあり、より確実な請求・支払い方法を重視する海外では決して一般的ではありません。

今回、全旅グローバルペイは「StarPay-Biz for Hotel」と連携することで、複数の海外OTA・旅行会社に対する精算管理や請求業務を一本化でき、精算業務および間接コストを大幅に削減することが期待できます。

別の見方をすれば、全旅グローバルペイは宿泊施設の経理業務を「アウトソーシング」するサービスでもあります。業務や人的リソースの配置を最適化するシステムとしても、活用して頂けるソリューションになります。

泊施設の間では「海外取引を安全かつスムーズに行いたい」というニーズが高まっている。月2回の精算手続きと100%の債務保証

まずは「Agoda」と「Traveloka」*の宿泊予約サービスと連携する。VCN決済は海外のBtoB決済において広く採用が進んでおり、今後、日本でもVCN決済に対応可能なOTA・旅行会社が増えることも期待される。

インバウンド需要の 新規開拓にも繋がる

日本の宿泊業界にとって、インバウンド需要の取り込みは不可欠なものとなっている。注目が集まりそうだが、全旅グローバルペイは、インバウンドの受け入れを「難しいもの」から「取り組みやすいもの」へと変える可能性を秘めている。新たな決済ソリューションとして、今後の展開に注目が集まりそうだが、

*Traveloka: 2012年にインドネシアで創業し、成長著しい東南アジア市場に強いオールインワン型の旅行予約プラットフォーム。アプリの累計ダウンロード数は1億4000万回超、アクティブユーザー4000万人以上の規模を有する。昨年(2025年)4月から日本市場への本格参入を開始した。

【全旅クーポンの実績を活かした安心設計】

全旅グローバルペイは、国内6500以上の宿泊施設で導入実績のある「全旅クーポン」の仕組みをベースにしている。全旅クーポンは、全国旅行業協会 (ANTA) に加盟する国内旅行会社と受入施設との精算を一元化するために開発されたもので、100%債務保証、月1回の定期的な精算・支払いに対応する。全国約1万件の観光関連事業者が参画しており、安全な取引のサポートだけでなく、精算業務の一本化等による負担軽減も評価されている。観光業界の企業間取引を長年にわたり支えてきた実績と信頼性を、海外取引にも拡張した形となる。

全旅クーポン 詳しくはコチラへ

対面型 全旅ペイメント

宿泊・観光・飲食店などのキャッシュレス決済に

業界最安水準!

カード決済	QRコード
VISA, Mastercard, UnionPay, au PAY, IC	Alipay+, 微信支付, 支付宝
2.79%	海外 2.15%
電子マネー	国内 3.50%
交通系電子マネー, iD, nanaco, nimoca, Suica, PASMO, Edy, QUICC, manaca	PayPay, d払い, R Pay
2.79%	

初期費用!

キャッシュレス決済端末機代 約10万円 ▶ 0円 振込手数料 月額利用料 も無料!

日本の商習慣に最適な最新端末!

- 三井住友カードが企画し、国内メーカーを採用することで、安心な保守体制と日本の商習慣に即したサービスを提供!
- 電子サインなので、カード会社への伝票送付不要!
- 周囲から見えないバーコード機能を実装しており、暗証番号入力も安心
- お客様側とスタッフ側を別々に英語表記へ切り替え可能!
- Visaのタッチ決済にも対応!

お申し込みはこちらから <https://www.zenryo.co.jp/facetoface02/>

株式会社 全旅 ZENRYO

東日本エリア TEL:03-6264-1399
西日本エリア TEL:06-6947-5050